8月10日は「道の日」

道路ニュース

THE ROAD NEWS No. 595
令和元年6月号

発行所　全国道路利用者会議
〒100-0013
東京都千代田区霞ヶ関3-3-1
尚友会館6階
電話　03-3501-5611(代)
発行人　小林　勉
定価　20円（会員の購読料は会費に含む）

新たな財源を創設し、道路整備のさらなる推進を！

第71回定時総会開催

全国道路利用者会議は去る5月15日（水）、東京「砂防会館別館　シェーンバッハ・サボー」において、全国から関係者約550名が参加し、石井啓一国土交通大臣、谷公一衆議院国土交通委員長、羽田雄一郎参議院国土交通委員長のご臨席の下、第71回定時総会を開催した。

総会では平成30年度事業報告及び収支計算書、役員の改選、令和元年度事業計画及び収支予算書などを審議した。さらに地方創生、国土強靭化、ストック効果を早期に発揮させるため、道路利用者の意見を十分反映した道路整備を行うことや長期安定的に道路整備・管理が進められるよう、新たな財源の創設を求める等の決議を採択し、国会議員に要望した。

全国道路利用者会議第71回定時総会の開会にあたり、金子健次副会長（九州地区道路利用者会議会長・福岡県柳川市長）が挨拶を行った。

議長には檜山俊宏副会長（中国地区道路利用者会議会長・広島県議会議員）を指名し議事が進められた。はじめに平成30年度事業報告、同収支計算書が審議された。続いて、役員の改選、令和元年度事業計画、同収支予算書及び会費について審議され、原案のとおり承認された。

次に本年10月17日（木）に宮城県で開催が予定されている第69回全国大会について須藤弘三副会長（東北地区道路利用者会議会長・宮城県トラック協会会長）から大会及び道路視察など準備状況に関する説明が行われた。

定時総会は休憩をはさんで再開され、古賀誠会長が挨拶を行い、続いて、石井啓一国土交通大臣、谷公一衆議院国土交通委員長、羽田雄一郎参議院国土交通委員長より挨拶を頂いた。

また来賓として、国会議員、国土交通省道路局幹部、高速道路会社幹部などのご出席を頂いた。

続いて、全国道路利用者会議を代表して外崎秀人常任理事（北海道道路利用者会議副会長・北海道今金町長）が意見発表を行い、汐見明男常任理事（京都府道路協会会長・京都府井手町長）が決議を朗読し、全会一致で採択された。

定時総会終了後、採択された要望書を持ち、全国会議員に対して要望活動を行った。

《2・3面に関連記事》

会長挨拶

古賀　誠　全国道路利用者会議　会長

当会議の会長を仰せつかっております古賀でございます。第71回定時総会にあたりまして一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

今日は石井国土交通大臣をはじめ、副大臣、政務官、衆参の国土交通委員長、そして大勢の国会議員の先生方にご来賓としてご出席を賜っております。平素のご指導とあわせまして厚くお礼を申し上げる次第でございます。また、当会議の会員の皆様には全国各地からこの様に大勢の皆さんに本日の定時総会にご参集を賜わり、日頃から当会の道路整備の促進はもとよりでありますけれども、各般の事業に大変ご協力と、そしてまただ指導を賜っておりますことを今日の定時総会にあたりまして、改めてお礼と感謝を申し上げたいと思います。

本年度の当初予算は、100兆を初めて超える101兆4,571億円という大変大きな予算が編成をされております。その中に1兆3,475億円という「防災・減災、国土強靭化のための3か年緊急対策」が組み込まれているのはご承知の通りでございます。ただ、3年間でいいのかどうかという議論は、これから皆様方と真剣に議論を進めていかなければいけない問題であることは間違いございません。そして、これを着実に実行していただくということは大事な課題だと思います。

5月1日に新しい元号、令和の時代が幕開けいたしました。皆さんはご案内かと思いますけれども、当会議は昭和24年に先人や先達が焼け野原の焦土化の国土の中から「道路整備こそを国の力であり、道は命である」ということをモットーに設立をされた大変歴史のある、全国道路利用者会議であります。その時代その時代に道路整備に何を求められるのか、何を必要としてるのか、会員の皆さん方そして先人や先達が額に汗し、今日までこの歴史ある会議を継続させていただくことができたことに極めて感慨深いものを覚えると同時に、そうした先人や先達の歴史を私達はしっかり踏まえていかねばならないと思います。

一昨年以来、道路利用者会議も従来の道路整備を進めるという事業の促進はもとよりではありますけれども、ただ単に道路を進めるというものに形骸化させてはならない、むしろ道路を利用していただく利用者の方々、今日もお見えでございますが、全日本トラック協会の皆さん、全国ハイヤー・タクシー連合会の皆さん、そして日本バス協会の皆さん、そうした道路を利用していただく方々が、これからの道路整備に何を求めているのかということをしっかりと道路整備に反映させるということは、私達に求めてられている新しい視点ではないか、この様に思いご協力を賜りながら、この組織の強化にもご協力をいただいているところでございます。

昭和24年に設立されたこの会議のこれからの役割責任というのは、極めて大きいものがあると私どもは、認識をあらたにいたしているところでございます。様々な当面の課題はスローガンに掲げている通りであります。計画的に着々と国民の期待に応えて、先人や先達も理念であります「道は命、道は国の力」という原点にかえって、これからの時代も国民の期待に応えるべく、しっかりとした活動を続けて参りたいと決意をあらたにしているところでございます。皆さん方の更なるご協力とご支援を賜りますことをお願いを申し上げ大会のご挨拶といたします。

決　議

地方創生及び国土強靭化を推進し、ストック効果を早期に発揮させるため、道路利用者の意見を十分反映しつつ、次に掲げる項目を計画的かつ着実に実現すること。

一、東日本大震災や熊本地震等による被災地の速やかな復旧・復興
一、防災・減災、国土強靭化のための三か年緊急対策を着実に実施するための予算の確保
一、ダブルネットワークの構築など国土強靭化に資する社会資本整備予算の確保
一、予防保全を含む道路の老朽化対策に必要な予算の別枠確保
一、高規格幹線道路等の未整備区間の解消及び四車線化・六車線化の早期実現
一、高速道路料金の事業者向け割引の継続
一、スマートIC整備やSA・PA、道の駅の機能強化及び交通ターミナルの官民連携での整備推進
一、トラック、バス、タクシー等の利用者目線での渋滞対策の促進
一、生活道路等の安全対策及び無電柱化の推進
一、新たな広域道路交通計画の早期策定と重要物流道路の更なる指定・重点整備及び特車通行許可の迅速化

長期安定的に道路整備・管理が進められるよう、新たな財源を創設するとともに、令和二年度道路関係予算は、所要額を確保すること。

令和元年五月十五日

全国道路利用者会議
第七十一回定時総会

令和元年度
「道路ふれあい月間」
推進標語

『この道は　世界につづく　ゆめとびら』

“道路総合システムサービス”企業
NICHIREKI
ニチレキ株式会社
東京都千代田区九段北4-3-29　TEL 03(3265)1511代表